

令和5年度 平塚市市民活動推進補助金事業報告書（入門・発展コース）

1 団体名	ママぎゅっと	
2 事業名	平塚子育てポータルサイト「söpöひらつか」作成	
3 コース区分 ・補助額	(以下のどちらかのコースを○で囲んでください。) 入門コース ・ 発展コース	20 万円
4 実施期間	(開始期日) 令和5年4月1日 ~ (完了期日) 令和6年3月31日	
5 事業の目的 申請書と同じ内容を記入してください。	<p>①情報マッチングによる健康家族経営ができる子育ての街づくり 2022年に行った「ひらつかママ1000人アンケート」を実施した際、「子育てのための身近な地域情報をもっと手軽に欲しい」という声が多く、現在の平塚市の子育て情報発信に課題があることを感じた。また、平塚市で子育てを行うことの楽しさや意義を共有するオープンな場が必要と感じ、子育ての情報を発信したい団体や個人と子育て中のママパパの気軽な情報収集の場として平塚の子育て情報が集まったポータルサイトを作成する。ポータルサイトの内容には、平塚がいかにか、心身だけではなく、社会的な健康を促進できる子育てができる街であるかの情報（イベント、子連れスポット、お店、子育てインタビュー、占いなど）を発信し、情報発信者と子育て世代が繋げることで、クローズドになりがちな子育てをオープンにしていく取り組みを行う。</p> <p>②ママパパの発信力を鍛える ポータルサイトの運営には平塚市在住のパパママに関わってもらい、平塚の魅力の子育て目線で発信することのできる人材を増やしていく。発信力を鍛える過程でも交流の場を設けることで同じ平塚市に住む子育て仲間のコミュニティづくりを促進し、定住促進を行う。 また、平塚市に興味を持つ親子に向けて、平塚の魅力を発信し、移住促進を行う。さらにママパパが発信力を鍛えることで、自分の特技で起業した時のスキルとしても役立ててもらおう。</p>	
6 実施した内容 活動・事業の実績（実施内容・実施日・場所・参加人数など）について具体的に記入してください。 ※ 申請書の内容と相違があった場合はその変更点と理由を記入してください。	<p>子育てポータルサイト『söpöひらつか』の作成</p> <p>4月～5月 ママ記者募集、面談、選定 3名のママ記者の決定、サイト構築者決定 5月 SOPOホームページコンセプト作成/カテゴリ作成/ロゴ依頼/編集会議 参加者6名 6月 SOPO拡散打ち合わせ（広報チーム発足）参加者10名 7月 SOPO編集会議/ママ記者養成講座（参加者10名） 8月～9月取材、編集、サイト構築、ママレポート記事転載 9月 ママ記者養成講座：ワードプレス講習 9月3日 SOPOインスタスタート 10月1日 ママぎゅっとフェス（のべ100名集客、12ブース参加） 11月 ママ記者養成鋼材デザイン編（CANVA講座：12名） 2024年1月 編集会議 参加者5名 2024年3月3日 ポータルサイトお披露目 写真講座 参加者9名</p>	

<p>7 得られた 成果・効果</p> <p>活動・事業を実施した ことで良かった点、得 られた成果、確認され た効果などについて記 入してください。</p> <p>また、アンケート等で 参加者や受益者（サー ビスを受けた方）の評 価がわかる場合は、記 入してください。</p>	<p>1. sopoひらつかポータルサイトを作成し、オープンした。SOP0専用のインスタもオープンすることができた。</p> <p>2. SOP0サイト作成の過程で平塚市内でのパパママの新しいつながりが生まれ、平塚に移住してきたママさんの参加も叶った。また、取材を通じて平塚市内の子育てに優しいスポットや子育てサポートをしてくれるサービスとの出会いもあり、その魅力を記事化することで自分の言葉で表現することができるようになり、参加者が平塚に住んでいることを改めて幸せに感じられる場面が多々あった。参加者からは平塚愛が増したとコメントをもらった。</p> <p>3. ママパパ記者の育成により発信力を鍛えることで、ママパパ目線で平塚を魅力的に発信できる人が増やすことができた。平塚という自分が住んでいる街について今まで以上に興味を持つことができたコメントをもらった。ママ記者養成講座をママぎゅっとインスタで告知することにより、ママ記者に興味を持ってくれて、お問い合わせなども会った。またネット上で発信する際の注意点などを学び合い、SNSの使い方や、発信に自信を持つことができた。自分の子どもに対しても適切なITリテラシー教育ができ、SNSトラブル等を減らす一助になっている。</p>
<p>8 反省点・課題</p> <p>活動・事業を実施した 結果、反省点や課題と してあげられる事項に ついて記入してくださ い。</p> <p>また、反省点や課題の 改善方法を検討した り、解決を図った場合 は、その内容を記入し てください。</p>	<p>事業継続するにあたり、今回は補助金をもらって活動を行ったが、ママ記者への謝礼やサイト継続のための資金が必要である。</p> <p>取材のための知識を学ぶこと、取材、執筆、先方確認とやることがたくさんあり、時間がかかることから無償でのママ記者の活動は難しいと考えるため。</p> <p>ただ、取材や発信のための知識については今回の事業の中である程度資料がまとまっており、今後ママ記者養成に活用していければと考える。</p>
<p>9 今後の 事業展望等</p> <p>活動・事業について今 後も継続的に行うもの であれば、その計画 や、団体としての今後 の活動計画・事業展望 等を記入してください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ SOP0の運営の継続(記事のアップ) 平塚市内のスポット ・ 研修事業の継続 →ママ記者養成講座 (GANVAデザイン講座、取材いろは講座、カメラ講座、ワードプレス講座、インスタ講座など) ・ ママぎゅっとフェスの実施の継続 年に1回程度の開催で新しい出会いの創出や ママパパのチャレンジの場の機会提供 ・ 会計業務 マネジメントなど 組織運営のためのスキル研修の実施

活動・事業の収支決算書

※団体全体の収支ではなく、補助対象事業に限定した収支を記載してください。

事務局記入欄 発展コース補助割合確認

項目	収入		支出		増減額 (円)	具体的な内容 (積算根拠等)
	予算額 (円)	決算額 (円)	予算額 (円)	決算額 (円)		
① 収 入						
補助金	200,000	200,000			0	平塚市市民活動推進補助金
団体予算	50,000	52,452			2,452	団体予算
収入合計	A 250,000	B 252,452			B-A 2,452	発展コース：補助対象経費 252,452 円 × 80 % = 201,961 円 補助限度額 200,000 円
② 支 出						
ママ記者謝礼費	60,000 (60,000)	60,000 (60,000)			0	取材、執筆、調査まとめ費、交通費込み20,000円/1人×3名
デザイン費	20,000 (20,000)	20,000 (20,000)			0	サイトデザイン費
サイト構築費	110,000 (60,000)	110,000 (60,000)			0	ポータルサイト構築費(SE)
雑費	5,000 (5,000)	7,800 (6,000)			2,800	講座開催会場代2開催分・ポールペン代
ママ記者養成講座講師費	40,000 (40,000)	40,000 (40,000)			0	全3回講師費、1回あたり謝金20,000円×1回、10,000円×2回
広報費	15,000 (15,000)	14,652 (14,000)			-348	インスタ広告
支出合計	C 250,000 (200,000)	D 252,452 (200,000)			D-C 2,452	
③ 収支決算額	B 252,452 円	-	D 252,452 円	=	0 円	【備考】

※支出額の () 内は、支出のうち補助金から支出する金額を記載してください。また、各支出項目についての領収書の写し(コピー)を添付してください。

かわいい平塚の魅力を発信！

子育てポータルサイト「söpöひらつか」^{そぼ} 事業報告



平塚市民団
「ママぎゅっと」



söpöひらつか



söpö (そぼ) は
フィンランドで
かわいいを意味
する言葉です！

平塚市でママの出会いとつながりをサポートする市民団体「ママぎゅっと」平塚市の
子育て情報を集めた子育てポータルサイト「söpöひらつか」を構築。



2024年3月3日
オープン
お披露目会を実施
(@平塚市芸術文化ホール)

WEBサイト &
SNSで記事をUP





「söpöひらつか」の ママ記者を養成！



STEP1 2023 06 18
ウェブライティングを学ぼう
講師 長谷川あい子 (ママぎゅっと)



STEP2 2023 08 02
ワードプレスの仕組みを知ろう
講師 八木賢一さん



STEP3 2023 11 18
CANVAでデザインしてみよう
講師 いづみさん



STEP4 2024 03 03
スマホで写真を撮影してみよう
講師 コガアキコ (ママ記者)



湘南ジャーナルさんとママ記者の
コラボレーションも実現！

令和5年度 平塚市市民活動推進補助金事業報告書（入門・発展コース）

1 団体名	NPO法人しえんのまなび舎	
2 事業名	手から手へ優しさと温かさを広げる和やかな支援	
3 コース区分 ・補助額	(以下のどちらかのコースを○で囲んでください。) 入門コース ・ <u>発展コース</u>	17 万円
4 実施期間	(開始期日) 令和5年4月1日 ~ (完了期日) 令和6年3月31日	
5 事業の目的 申請書と同じ内容を記入してください。	令和5年度は、その学びを広げる活動を展開していく。 ①マインドフルネスを支援の場で活用 ②ハンドセラピーを使った傾聴と心の手当 ③セルフケアの大切さを多くの方に伝える 今までは、しえんのまなび舎のスタッフが多くの支援者を癒す活動を行ってきたが、これからは、しえんのまなび舎のスタッフだけでなく、多くの支援者が自分たちの学んだことを活動場で実践していく。そのことで、心和やかな場作りができると思う。 昨今、虐待などが世間で騒がれているが、和やかな場、心の居場所を作ることで、このような社会課題も解決していくように思う。	
6 実施した内容 活動・事業の実績（実施内容・実施日・場所・参加人数など）について具体的に記入してください。 ※ 申請書の内容と相違があった場合はその変更点と理由を記入してください。	①まちなかベースきちきち（ウエルカフェ）で、しえんのまなび舎のスタッフがマインドフルネス、ハンドセラピーやフットマッサージ、アロママッサージなどを実際に支援者に施して、気持ち良さ、癒されることを体感してもらう。その際に相手の話を傾聴することが大切なことも体験で感じてもらう。毎月第三土曜日、第四土曜日で行い、延べ75名参加。 ②セルフケアの大切さや実際のマインドフルネスとハンドセラピーのセミナーを開催する。専門の講師やセラピストの講演会2回、スタッフによるセミナー3回 延べ41名参加。 ③実際に支援者（保護者、介護者）にそれぞれの場で、実践してもらう。実際に活動したのは、しえんのまなび舎のスタッフが、6か所で実践。（きりんのうち、赤ちゃんcafe、こんぺいとう、支援者交流会、市民活動センター祭り、横浜親子実践会等）延べ199名のハンドセラピーを行い、子育て、支援の悩みなど傾聴した。 ④実践したことの振り返りなどを行い、上手くいかない所について一緒に考える。実際に、スタッフがその現場に行き、一緒に取り組んでみる。スタッフのハンドセラピー講習会を専門の先生にお願いした。2回（内、2名がインストラクターになる） ⑤互いにハンドセラピーをするなど、活動が広がるような工夫をする。スタッフ以外にも活動に賛同して、研修を受け、インストラクター1名。大門まつりなどで、実際に活動を行い、ハンドセラピー体験をして貰った。	

<p>7 得られた成果・効果</p> <p>活動・事業を実施したことで良かった点、得られた成果、確認された効果などについて記入してください。</p> <p>また、アンケート等で参加者や受益者（サービスを受けた方）の評価がわかる場合は、記入してください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの方にセルフケアが大切であることをお伝え出来た。また、実際にハンドセラピーを体験して頂き、心地良い感覚を体験して頂けた。 ・子育て広場や支援者交流会、精神障害当事者会などでハンドセラピーをさせて頂く機会を頂き、活動を広げることが出来た。 ・支援者にとって、自身のセルフケアが大切であることを認識した頂けた。 ・子育て交流会で、ハンドセラピーと傾聴の組み合わせて行うことが、脳内ホルモンの活性化になることが話題になった。（支援者で体験された方々から） ・スタッフがハンドセラピーを行いながら、子育てママに向き合うと小さい悩みごとまで話して、スタッフも気持ちの受け止め、子育てのアドバイスが出来て、スタッフからも好評だった。 ・「自分の支援活動にも役立てたいので、一度うちの団体に来て伝えて欲しい。」との声が聞かれるようになった。 ・インストラクターになったスタッフがお年寄りの集いの場でハンドセラピーを主体的に行うことが出来、喜ばれた。 ・講演会やセミナーのアンケートでは、90パーセント以上の方から満足の評価を頂くことが出来た。
<p>8 反省点・課題</p> <p>活動・事業を実施した結果、反省点や課題としてあげられる事項について記入してください。</p> <p>また、反省点や課題の改善方法を検討したり、解決を図った場合は、その内容を記入してください。</p>	<p>まちなかベースきちきち、ウエルカフェのように決まった日に開催している場へは、決まった方のみ利用が多く、広がりを感じなかった。また、支援者に学んでもらい、それぞれの場所で役立てて頂きたいと思っただが、そこまでの広がりには、1年間では、難しかったと思う。</p> <p>次年度からは、市民活動団体の場へ出向いて行き、ハンドセラピー体験でセルフケアの大切さを実感して頂きたい。そして、セルフケアのセミナーなどの機会を設けて頂きたい。</p> <p>まちなかベースきちきちでは、他の活動団体とコラボして、発達特性のある生徒を支援する活動、支援者支援になる活動を行っていききたい。セルフケアの講座も引き続き開催する。</p> <p>ウエルカフェでは、子育てに関わる相談、就労に関わる相談などの相談事業を中心に、そこで、ハンドセラピーを活かした傾聴も行っていこうと思う。</p>
<p>9 今後の事業展望等</p> <p>活動・事業について今後も継続的に行うものであれば、その計画や、団体としての今後の活動計画・事業展望等を記入してください。</p>	<p>支援者（保護者）の疲弊も目の当たりにして、支援者のセルフケアや癒しについて今後支援をしていく必要を感じた。スタッフがいつもハンドセラピーをすることには限界があるので、支援者自身が自分や周りの方にもハンドセラピーやマインドフルネスができるよう来年度はその活動にも力を注ぎたいと思う。また、活用しているハンドクリーム会社とコラボして、活動しやすく協力を仰いでいきたい。</p> <p>これからも第3土曜日のまちなかベースきちきちでは、他団体とコラボして、はっぴー♡サロンや発達特性のある生徒の自立支援活動を続けていきたい。また、第2土曜日の発達障害の子ども達の就労体験「回覧板のお仕事」も続けていきたい。第4土曜日の午前中は、ウエルカフェで子育て相談とセルフケアを行い、寄り添う支援を続けたいと思う。</p> <p>発達特性のある生徒の支援者から希望のある講演会や学習会も不定期に開催する。</p>

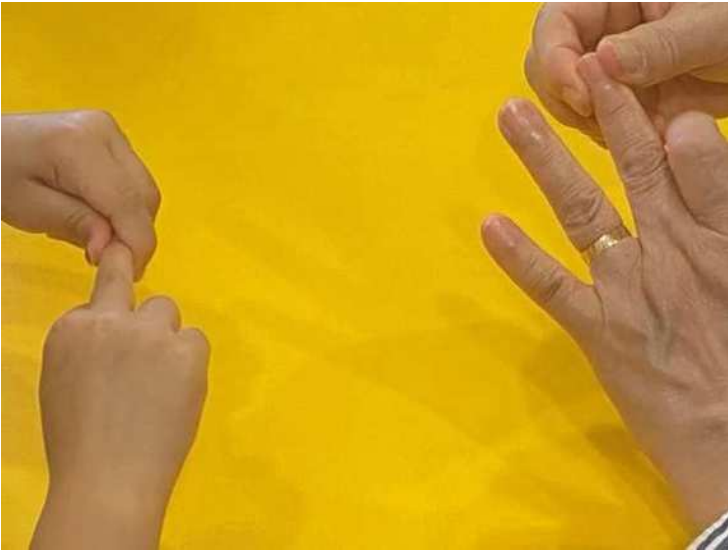
活動・事業の収支決算書

※団体全体の収支ではなく、補助対象事業に限定した収支を記載してください。

事務局記入欄 発展コース補助割合確認

項目	予算額 (円)	決算額 (円)	増減額 (円)	具体的な内容 (積算根拠等)
① 収入				
補助金	170,000	170,000	0	平塚市市民活動推進補助金
会費	20,000	22,900	2,900	会費より
研修費個人負担	30,000	30,000	0	6,000円×5人
収入合計	A 220,000	B 222,900	B-A 2,900	発展コース：補助対象経費 222,900円 × 80% = 178,320円 補助限度額 170,000円
② 支出				
印刷代	15,000 (6,000)	55,000 (27,500)	40,000	チラシ制作・印刷代等 27,500円×2
会場費	60,000 (60,000)	50,000 (50,000)	-10,000	まちなかスペースさきさき5,000円×10回
講師謝礼	60,000 (60,000)	30,000 (30,000)	-30,000	外部講師謝礼2回、30,000円
セルフケアのための材料費	30,000 (14,000)	45,000 (20,000)	15,000	ハンドクリーム1箱
研修費	55,000 (30,000)	42,900 (42,500)	-12,100	研修教材費
支出合計	C 220,000 (170,000)	D 222,900 (170,000)	D-C 2,900	
③ 収支決算額	B 222,900円	- D 222,900円	= 0円	【備考】

※支出額の () 内は、支出のうち補助金から支出する金額を記載してください。また、各支出項目についての領収書の写し(コピー)を添付してください。





令和5年度 平塚市市民活動推進補助金事業報告書（入門・発展コース）

1 団体名	ひばり野のなかま達	
2 事業名	ちいき・子ども食堂及び学習支援	
3 コース区分 ・補助額	(以下のどちらかのコースを○で囲んでください。) 入門コース ・ <u>発展コース</u>	14 万円
4 実施期間	(開始期日) 令和5年 4月 1日	(完了期日) 令和6年 3月 31日
5 事業の目的 申請書と同じ内容を記入してください。	子どもや高齢者を取り巻く環境は、時代の変遷や社会環境の変化により大きく影響を受ける。R. 2よりちいき・子ども食堂を運営しているが、様々な人たちとの出会いをとおり課題が見えつつある。コロナ禍で他地域からも食堂の利用者が来店し、増加している為、より多くの方たちを支援したいと考えている。	
6 実施した内容 活動・事業の実績（実施内容・実施日・場所・参加人数など）について具体的に記入してください。 ※ 申請書の内容と相違があった場合はその変更点と理由を記入してください。	<ul style="list-style-type: none"> ・学習支援・居場所：R. 1. 9～於中原公民館、毎月第二・四月曜日15:00～愛の鐘まで、元教員、保育士、福祉経験者により放課後の子ども達との交流 ・駄菓子屋：R. 1・6～於飯島のグループホーム玄関先にて開店。現在はコロナ等感染症の予防の為、入居者と子供は時間をずらして開店。毎月第三木曜日 来店者は概ね30～35名 ・ちいき・子ども食堂：中原地区：毎月第二・四月曜日17:30～19:30 ・豊田地区：毎月第二・四水曜日17:30～19:30 来店者は概ね5～30名 お盆の時期のみ来店者数の減少により、各地域1回のみ休店 	

<p>7 得られた 成果・効果</p> <p>活動・事業を実施した ことで良かった点、得 られた成果、確認され た効果などについて記 入してください。</p> <p>また、アンケート等で 参加者や受益者（サー ビスを受けた方）の評 価がわかる場合は、記 入してください。</p>	<p>* 各々の開催場所での経験や交流が深まり、顔なじみの関係が構築されつつある。（多世代間の交流）</p> <p>* その関係が発展し、会場内で互いに助け合ったり、声掛け合いをする場面が増加している。</p> <p>* 課題ある家族との交流も出来つつあり、相談に乗ったり、関係機関に繋げることが出来た。子ども食堂ネットワークの存在も力になった。</p> <p>* 豊田地区では、地方情報局の協力も得られた。</p> <p>* 食事をした後、作り方を聞きにきたり、保管方法を聞きに来るなど、食品ロスの効果も上げる事につながった。</p> <p>* 学習支援護、子ども達の遊ぶ声が、ボランティアの活動へのモチベーションにもつながった。</p> <p>* 宿題後のドリルも活用できた。</p>
<p>8 反省点・課題</p> <p>活動・事業を実施した 結果、反省点や課題と してあげられる事項に ついて記入してくださ い。</p> <p>また、反省点や課題の 改善方法を検討した り、解決を図った場合 は、その内容を記入し てください。</p>	<p>* ちいきとの連携：既存の事に囚われやすく新規の事が取り入れにくいという風土感が根強くあるものの、私たちが経験を積み重ねていく事により、今度更に地域団体との連携を深めていきたい。</p> <p>* 公民館の使用が可能になり、鍋、釜、皿、小鉢、薬缶、茶わん、お椀、カップ、箸、等の搬入がなくなり、準備時間の短縮になった。経験者として子ども食堂の公民館利用により、他地域にも子ども食堂の必要性や理解を含めていきたい。</p> <p>* これらを踏まえ、子ども食堂の理解・必要性を幅広く周知させるために、食育活動の一環として食育セミナーの開催を実施したが、広報力が弱く集客がやや少なかった。PRの方法を検討して行く。</p> <p>* 端境期の野菜不足に困ったが、保存食品（冷凍、乾燥）で何とか補えた。</p> <p>* 物価の高騰に悩まされた。</p> <p>* 野菜嫌いの子ども達に上手な働きかけにより、ほんの少しでも盛り付けてもらえるような声掛けをもっと上手にしていきたい。又、食べやすい調理を更に検討して行く。</p> <p>* 公民館での食事は、調理室に限られているため、小さな子供には食べにくく、子ども用の椅子を寄付により3台用意できたが、それでも食べにくい。これは何とかならないものだろうか。</p>
<p>9 今後の 事業展望等</p> <p>活動・事業について今 後も継続的に行うもの であれば、その計画 や、団体としての今後 の活動計画・事業展望 等を記入してくださ い。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・すべての事業は、このまま継続していく。 ・ボランティアの増強を図る。 ・設立、活動開始から5年目に入る為、団体としての活動が安定化されるようNPOの法人化を目指したい。（目標2025. 4）1年間の準備期間として研修参加や、他のNPOから参考意見を聞いたり、書類等に係る準備を進めていく。 ・安定した収入を得るための、収益事業となるものの検討、収入源の確保に努めたい。 ・セミナーの開催を定期的実施していく（ボランティアの保持する資格の有効活用）

活動・事業の収支決算書

※団体全体の収支ではなく、補助対象事業に限定した収支を記載してください。

事務局記入欄 発展コース補助割合確認

項目	予算額 (円)	決算額 (円)	増減額 (円)	具体的な内容 (積算根拠等)
① 収入				
補助金	140,000	140,000	0	平塚市市民活動推進補助金
協力金	0	120,000	120,000	県子ども食堂応援事業協力金
補助金	30,000	50,000	20,000	平塚市社会福祉協議会
寄付金	207,750	124,745	-83,005	募金箱9,547 その他寄附115,198
雑収入	227,000	236,251	9,251	ハザ@0円、食堂、駄菓子売上207,351 会員会費28,900
収入合計	A 604,750	B 670,996	B-A 66,246	発展コース：補助対象経費 239,925 円 × 70 % = 167,947 円 補助限度額 140,000 円
② 支出				
項目	予算額 (円) (うち補助金額)	決算額 (円)	補助対象経費 (円) (うち補助金額)	具体的な内容 (積算根拠等)
保険料	57,900 (57,000)	43,464 (43,000)	43,464 (43,000)	食食用全社協行事業保険37,464 学習支援用保険6,000
物品購入費	111,000 (55,000)	163,197 (68,000)	163,197 (68,000)	消耗品 (ビニール・ゴミ袋類43,886) 学習支援用教材23,645 付、カーブ他25,325 鍋他13,128 テープルクロス他10,998 ミサト10,980 火消スプレー1,078 ホイット他 5,925 日除13,800 三角巾14,432
食糧費	322,000 (0)	335,480 (0)	0 (0)	食堂食材費
印刷費	17,150 (17,150)	32,940 (25,000)	29,160 (25,000)	チラシ、ポスター 通知 通信、ビジメ他
事務用品費	19,700 (13,000)	4,104 (4,000)	4,104 (4,000)	ペン、ボールペン、封筒327 ホチキス、マッキー-1,379
旅費交通費	17,000 (0)	18,311 (0)	0 (0)	ガソリン代、P代
水道光熱費	60,000 (0)	73,500 (0)	0 (0)	5,000×3=15,000 @6,500×9=58,500
支出合計	C 604,750 (142,150)	D 670,996 (140,000)	D-C 66,246	
③ 収支決算額	B 670,996 円	- D 670,996 円	= 0 円	【備考】

※支出額の () 内は、支出のうち補助金から支出する金額を記載してください。また、各支出項目についての領収書の写し (コピー) を添付してください。



↑キッチンひばり野（中原公民館）子ども食堂の準備中



↑食育セミナー



←中原公民館
宿題・学習支援

中原公民館→
宿題・学習支援の
看板を子ども達が作成



↑キッチンとよファーム
（南豊田）食堂の様子

キッチンひばり野→
（中原公民館）の食堂の様子

